

平成 27 年度 大阪府立交野支援学校 第 1 回学校協議会 報告

1. 日時・場所	平成27年6月22日（月） 午前10時から12時 本校会議室				
2. 出席者	【学校協議会委員】				
	金見 幸夫		元大阪府立学校長		
	八尾 康典		交野自立センター所長		
	大河内 孝子		交野市森地区区長		
	小西 均		四條畷市砂地区区長・砂自治会長（公務により欠席）		
	藤田 洋子		大阪府立交野支援学校 PTA 会長		
	大西 馨里		大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長		
	【事務局】				
	校 長		井上 昌二	准校長	松尾 光雄
	事務長		島田 敬三	四條畷校教頭	南 佐和則
	本校教頭		藤野 洋子	四條畷校首席兼中学部主事＊	溝部 晃輔
	本校教頭		池本 ひとみ	四條畷校首席兼高等部主事＊	村上 智則
	本校首席		丹羽 はるか	＊公務のため欠席	
	本校首席		相馬 寿子		
	本校小学部主事		坂田 佳代子		
	本校中学部主事		大西 直子		
	本校高等部主事		米良 知之		
3. 次第	(1)校長挨拶（井上校長） (2)「協議会委員」および「事務局」自己紹介 (3)「会長の選出」と本年度の「学校協議会実施要綱」「学校協議会傍聴規則」の確認 《推薦により、会長に金見幸夫様が選出された》 (4)本年度の予定 (5)本年度の「学校経営計画」（本校） 本年度の「学校経営計画」（四條畷校） (6)意見交換 (7)准校長挨拶(松尾准校長)				
4. 報告	＊《本校「学校経営計画」説明》 「めざす学校像」実現に向けての「中期的目標」を確認後、学校長が「今年度の具体的な取組内容」を中心に説明を行った。 【中期目標】1. 安全安心な学校づくり (1) 大災害時の対応マニュアル活用に向けた取組み ・昨年度作成の対応マニュアルと「防犯・防災計画」との整合性の確認及び登下校時の対応マニュアルを検討・作成。 ・教職員、保護者の意識を高めるための研修会・講習会を開催予定。 ・3日分の備蓄食、備品、消耗品の整備。 (2) 安全安心な医療的ケアの実施 ・医療的ケアの実施方法、実施体制、チェック体制等の検証・見直し。 ・マニュアル（緊急時を含め）の見直し。 (3) 人権に配慮した教育活動の推進 ・児童生徒の情報を共有化するためのシステム整備。				

	【中期目標】 2. 専門性の向上に対する取り組み (1) 授業改善・授業力向上のための取り組み ・初任者の研究授業を1学期中に実施（早期の課題改善）。 ・新転任者への幅広い研修等の周知。 ・管理職からの情報の発信。 (2) 自立活動における専門性向上に向けた取り組み ・外部人材（PT, OT, ST 等）の積極的な活用。 ・専門性の高い教員の校内巡回。 (3) アセスメントスキルの向上と発達検査等を活用できる環境整備 ・発達検査等の有効な活用。 【中期目標】 3. キャリア教育の推進 ・拡大教育課程検討委員会の充実（キャリア教育 PT を発展させる）。 ・高等部コース制の検証（3年経過）。 【中期目標】 4. センターの機能の充実 ・支援教育地域支援整備事業の今年度北河内ブロック推進校。 ・校内でも教員のコーディネート力アップ。 ・支援教育コーディネーターの次世代育成。
	* ≪四條畷校「学校経営計画」説明≫ 「めざす学校像」実現に向けての「中期的目標」を確認後、准校長が「今年度の具体的な取組内容」を中心に説明を行った。 【中期的目標】 1. 安全安心な学校づくり (1) 生徒の人権を大切にする教育 ・校内人権意識の高揚。 (2) 大災害を想定し、学校内外での対応を検討 ・ワーキングチームにて、防災マニュアルを作成。 ・2日分の備蓄食及び生徒個々が必要とする備品の検討。 ・秋にオープン予定のイオンモール四條畷との連携。 【中期的目標】 2. 授業力及び専門性の向上 ・授業にキャリア教育の視点を取り入れるための、ワーキングチームの立ち上げ。 ・外部人材を活用し、自立活動の充実。 【中期的目標】 3. 社会的自立への支援の充実 ・進路先への充実した巡回の実施。 ・中学部での進路指導の充実（クリーンコースの授業見学等を実施）。 【中期的目標】 4. 校内支援・地域支援の充実 ・新しく校区となった地域との連携の充実。
5. 協議内容	* 今年度の児童生徒数について ・本校は小学部 68 名、中学部 31 名、高等部 53 名、合計 152 名 - 四條畷校は中学部 54 名、高等部 61 名、合計 115 名である。（9 月時点で 112 名） * 枚方支援学校・むらの高等支援学校について ・枚方支援学校には交野市・枚方市在住の児童生徒数が通っている。 ・むらの高等支援学校は選抜試験を実施しており、定員は 3 2 名。今年は 1 学年のみスタートである。

***発達検査について**

- ・アセスメントの為にを行うもので、療育手帳の申請等で行う検査とは目的が違う。
「児童生徒の困り感がどこにあるのか？」を探し、指導に活かしていくために実施する。外部研修に参加した教員は校内での伝達講習を実施する。

***教職員の専門性等について**

- ・講師の先生も多く、専門性向上は学校としても課題だと思っている。講師採用時は面接も実施し、校内や府の教育センターでも研修を実施している。
- ・校内では業務のスリム化を行い、時間を有効に活用するよう努力したい（研修や児童生徒に関する情報共有の充実に向けて）

***災害時のマニュアル活用について**

- ・マニュアルはできてはいるが、ご指摘のように実際に運用することが課題だと認識している。多くの教職員の役割分担と連携が必要だと考えている。

***教職員の校内研修について**

- ・授業に関して、人権関係、情報関係など多岐に亘って実施している。
- ・自立活動に関しては、外部人材を活用し、教職員向け研修を実施している。

***専門性のある教員の活用について**

- ・自立活動等の専門性の高い教員を学校として全体で活用できるよう、体制作りをしている。

***卒業後のフォロー及び進路先開拓等について**

- ・本校では支援部進路担当者が中心となり、アフターフォローを実施している。また、夏季休業中には旧担任もアフターフォローを行い、施設見学も実施している（現受け持ちの生徒の進路先もイメージしながら）

【*地域からの情報提供】

- ・交野市が5地区それぞれに10台ずつ計50台の防犯カメラを設置した。9月から稼働予定。設置場所については子どもたちの安全を考え、通学路を中心に検討中。また、電灯のLED化も進んでいる。

【*委員からのご意見・ご要望】

- ・支援学校を卒業し、施設に入所してくる利用者のなかには、生活面での課題を抱えているケースが多い。センター的機能としてコーディネーターが地域巡回を行っているが、施設の利用者対象に話をしてもらうようなことができないか？
- ・先生が見学に来てくれるだけで、利用者は喜ぶ。アフターフォローを大事にしてほしい。
⇒ 可能だと思うので、検討する。
- ・昨年度も伝えたが、廊下やホールに車いすが多い。整理の仕方を考え、校内美化に努めてほしい。
⇒ 学校としても認識している。ただ、最近は特に、児童生徒一人につき、必要なものが増えてきている。（例えば、車いす・座位保持いす・プロンボード・歩行器など）
校内では最低限のルールを設定し、車いすや歩行器などを置くようにはしている。
- ・保護者側が挨拶をすれば、先生もきちんと挨拶を返してほしい。会釈ではわかりにくいし、先生から挨拶や声かけをしてもらうことで、不審者対策へもつながると思う。
- ・子どもと接している時の声かけも大切にしてほしい。「今から〇〇するね～」などやはりひと声かけることが大切であり、専門性向上も重要だが、『人として』の面もあげてほしい。
- ・保護者側も多様化している。（来校時の服装が場にそぐわなかったり、車の乗り入れもルールを守らなかったり）子どもに悪影響が及ぶ際は、保護者に対しても厳しく言ってほしい。